

## 令和5年度米子市美術館協議会

日 時 令和6年2月15日（木）午後3時30分から  
ところ 米子市美術館 第5展示室

### 日 程

- 1 開 会
- 2 挨拶（文化振興課長）
- 3 議 事
  - （1）会長及び職務代理の選出について
  - （2）令和5年度米子市美術館事業実施状況について
  - （3）令和6年度米子市美術館事業計画について
  - （4）その他
- 4 その他
- 5 閉 会

## 米子市美術館協議会委員名簿

任期 令和5年10月1日から令和7年9月30日まで

区 分	氏 名	所 属 等	備 考
学 校 教 育	八 幡 晋 史	米子市中学校長会	再 任
学 校 教 育	山 根 真 奈 美	米子市小学校長会	再 任
学 識 経 験 者	三 浦 健 吾	株式会社中海テレビ放送	再 任
学 識 経 験 者	水 田 美 世	ウェブマガジン「トット」編集長	再 任
学 識 経 験 者	鐘 築 直 子	日本音楽熟成協会理事	再 任
社 会 教 育	永 江 靖 幸	彫刻作家	再 任
社 会 教 育	光 木 桂 二	洋画作家	再 任
社 会 教 育	佐 藤 千 秋	洋画作家	新 任
社 会 教 育	仁 宮 洋 子	工芸作家	再 任
社 会 教 育	服 部 麻 知 子	工芸作家	再 任
社 会 教 育	松 岡 託 司	日本画作家	新 任
社 会 教 育	金 田 芳 子	書道作家	再 任
社 会 教 育	中 澤 都 志 子	書道作家	再 任
社 会 教 育	岩 崎 瑞 枝	写真作家	再 任
社 会 教 育	長 谷 川 公 夫	写真作家	再 任

①主催事業

は1月以降実施

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>鑑賞事業(実施事業)</b>			
<b>企画展</b> <b>鈴木康生</b> <b>木口木版 ～暗闇に光を刻む～</b>  主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  関連事業:	R4.7/16(土) ～8/21(日)  [32日間]	<b>2,634</b>	郷土ゆかりの注目すべき作家を取り上げる企画展。今回は「第17回国民文化祭・とっとり2002夢フェスタ版画の祭典」で国民文化祭実行委員会会長賞を受賞した木口木版画家・鈴木康生(1969～/伯耆町出身/米子北高卒)を紹介した。木口木版85点。会期中作家が会場に滞在し実演を兼ね、鑑賞者との交流も行った。オリジナル版画付き展覧会図録刊行。フルーツカフェサエキとの連携で会期中コラボメニュー「キノコランド氷」あり。  会場:第2展示室 観覧料:無料
作家によるオープニングトーク	7/16(土)	(28)	解説:鈴木康生氏(本展出品作家)
作家による実演	7/17(日) 7/18(月・祝)	彫り/(14) 摺り/(20) 彫り/(18) 摺り/(20)	実演:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:第2展示室
木口木版ワークショップ (第1回ミュージアムスクール)	7/31(日) 10時～16時30分	(10)	講師:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:米子市明道公民館2階第1研修室 対象:高校生以上 定員:10名 参加費:1,100円
作家によるギャラリートーク	8/13(土)	(35)	解説:鈴木康生氏(本展出品作家) 会場:第2展示室
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(42)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
<b>特別企画展</b> <b>満田晴穂 JIZAI</b>  主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 協力:レントゲン藝術研究所準備室  関連事業:	R5.1/22(日) ～2/26(日)  [31日間]	<b>4,298</b>	「自在置物」(金属などを素材とし、昆虫や蛇、甲殻類などをかたどった金属工芸品)を継承する作家として国内外で活躍している自在置物作家・満田晴穂(1980～/米子市生まれ)の最近作16点を中心に紹介、美術館での初個展。フルーツカフェサエキではコラボメニューとして「たまたまどら焼きでできたフルーツサンド」あり。  会場:第1・2展示室 観覧料:一般500(前売400)円、大学生以下無料 *70歳以上の方、障がいのある方[付添1人を含む]、10名以上の団体、リピーター、美術館後援会会員、米子市歴史館友の会、Feel友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポートなどをご持参の方の料金
作家によるオープニングトーク	1/22(日)	(82)	解説:満田晴穂氏(本展出品作家)
作家によるトークイベント	1/22(日)	(56)	解説:満田晴穂氏(本展出品作家)、 池内務氏(レントゲン藝術研究所準備室親方) 会場:米子市立図書館 多目的研修室 定員:60人 要申込 本展観覧券または半券が必要
学芸員によるギャラリートーク	2/4(土) 2/18(土)	(102)	解説:喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(11)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促す。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>管理運営等事業</b>			
<b>①展覧会事業</b>			
特別共催展 <b>MINIATURE LIFE展</b> <b>～田中達也 見立ての世界～</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社  特別協賛：山陰酸素グループ 企画制作：(一財)NHKサービスセンター、株式会社CoCo 企画協力：株式会社MINIATURE LIFE  関連事業：	4/23(土) ～5/30(月)  会期中無休 [38日間]	<b>29,362</b>	誰もが知っている身近なものを別のものに見立て、ユーモアあふれる小さな世界を作り出すミニチュア写真家・見立て作家・田中達也(1981年/熊本県生まれ)の代表作から新作まで、選りすぐりの110点の写真と49点のミニチュア作品を一堂に展示。全作品撮影可能。フオトスポットも設置し子どもからおとなまで楽しんでもらえた。フルーツカフェサエキではコラボメニューとして「どこから食べるか抹茶う宇宙パフェ」あり。  会場：第1～4展示室 観覧料：一般 1,100(前売900)円、小中高生 500円、未就学児無料 *一般で15人以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)は前売料金 *70歳以上の方、高校・大学生で15人以上の団体や障がいのある方(付添1人を含む)、日本海新聞みみちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 *会期中の水曜日は「とっとり子育て応援バスポート」「しまね子育て応援バスポート」提示で当日券の100円割引
田中達也トークショー	4/23(土)	(50)	講師：田中達也 氏(本展出品作家) 会場：米子市立図書館 多目的研修室
<b>第61回 米子市美術展覧会(市展)</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 協力：第64回米子市音楽祭	6/10(金) ～6/18(土) 会期中無休 [9日間]	<b>2,288</b>	市民から公募した6部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻)247点(出品者数236人)を展示。  *初日開会式(1階ホール)にて門脇康一氏(ラ・エスペランサ代表)による演奏披露、表彰式(米子市立図書館2階多目的研修室)、審査講評(各展示室)を実施。 会場：第1～5展示室 観覧料：無料
共催展 <b>山陰線開業120年の歴史</b>  主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 [米子市立山陰歴史館・米子市美術館] 特別協力：西日本旅客鉄道株式会社米子支社 協力：倉吉博物館、公益財団法人交通文化振興財団 交通資料調査センター、境港市市史編さん室、鉄道の街米子・米子の鉄市実行委員会、鳥取県立公文書館、鳥取県立図書館、鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、米子市立図書館  関連事業：	7/31(日) ～8/28(日) [25日間]	<b>1,136</b>	明治35年(1902)、山陰線境一御来屋間鉄道開業から、令和4年(2022)で120年を迎えることを記念し、関連資料や写真などで、山陰地方の近代化と発展を支えた鉄道の歴史を紹介。  会場：第1展示室 観覧料：一般300(250)円 *()内は15人以上の団体 *70歳以上の方、大学生以下の方、障がいのある方(付き添い1人を含む)は無料 *山陰歴史館収入
Nゲージ展示運転	7/31(日) 8/6(土) 8/7(日) 8/11(木) 8/12(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/27(土) 8/28(日)	(349)	協力：鉄道の街米子・米子の鉄市実行委員会 会場：第5展示室
共催展 <b>AIR475 2022 滞在成果発表展</b> <b>「岡田裕子+三田村光土里</b> <b>ー岡田裕子 いま、ここにいます」</b> 主催：AIR475(エアヨナゴ) 共催：鳥取県、米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  関連事業：	8/5(金) ～8/28(日) [21日間]	<b>1,003</b>	2021年に現代作家として活動する岡田裕子氏と三田村光土里を招聘し、約3週間にわたり米子を拠点にリサーチと滞在制作を実施した。本年度はその成果発表として岡田裕子氏の展示を米子市美術館において行った。米子高専、島根大学、山陰歴史館の協力により動く置物、ハリボテ、画像など昭和期と現在の米子との比較による展示等を行った。三田村光土里氏は「この場所に時計を取り戻すー古い時計の文字盤に、まちの記憶が蘇るー」と題して野波屋(米子市道笑町)で9/23(金・祝)～10/10(月・祝)にてアートパフォーマンスを上演・公開する前の作家紹介として映像インスタレーション等を行った。また、これまでのAIR475の活動の紹介も行った。フルーツカフェサエキでは岡田裕子氏の考案したコラボメニューとして「いまここにいますパフェ」あり。  会場：第3・4展示室 観覧料：無料
オープニングギャラリートーク	8/5(金)	(41)	解説：岡田裕子 氏、三田村光土里氏(本展出品作家)、AIR475代表

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
アーティストによるギャラリートーク	8/6(土)	(55)	解説:岡田裕子氏、三田村光土里氏(本展出品作家)
三田村光土里 Art & Breakfast@ヨナゴミュージアム	8/7(日)	(17)	朝食をしながら、作家と触れ合うパフォーマンス。コロナウイルス感染予防対策をして行った。朝食は実費徴収。 場所:米子市美術館前広場 協力:フルーツカフェサエキ
岡田裕子 公開制作「Rub me tender Love my past:YONAGO 2022」	8/5(金) 8/6(土) 8/7(日) 8/19(金) 8/20(土) 8/21(日) 8/26(金) 8/27(土) 8/28(日)		制作:岡田裕子氏(本展出品作家)
共催展 共に生きるアート展 KANSEI 9 ～障がいのある人たちが創造するカタチ～ 主催:米子市 共催:米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	9/13(火) ～9/19(月・祝) [6日間]	937	市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品164点を展示。本年度は美術館前広場にて出品者による施設製造品(軽食類、小物類等)の販売も行った。 会場:第4展示室 観覧料:無料
第66回 鳥取県美術展覧会(県展) 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催:米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館、境港市	10/8(土)～ 10/17(月) 会期中無休 [10日間]	2,706	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品408点を展示。 会場:全館 観覧料:無料 <b>*初日、審査員による講評とギャラリートークは新型コロナウイルス感染拡大を鑑み中止</b>
コレクション展 I はじめまして! 新コレクション 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  関連事業:	9/4(日) ～10/2(日) [25日間]	1,099	昨年度米子市美術館後援会より寄贈いただいた金畑実(1918～2001)、坂口寛夫(1919～2014)、石田整昭(1927～1999)、前田進(1928～2016)、梅原宏治(1932～1985)といった郷土の美術振興に大きな足跡を残した作家や、郷土を離れて活躍した齋鹿逸郎(1928～2007)の代表作など、平成28年度以降に収集した作品をまとめて洋画、写真、版画、彫刻、日本画53点を紹介。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、日本海新聞みみちゃんクラブ、山陰中央新報さんさんクラブ、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金
学芸員によるギャラリートーク	9/17(土) 10/1(土)	(27)	解説:喜多村主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(5)	幼い頃から美術館及び美術に親しむことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。対象者に展示作品の細部に着目できるペーパーを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
コレクション展 II 人それぞれ 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館  関連事業:	10/30(日) ～11/27(日) [26日間]	1,290	コレクションの中から人物を題材にした作品を、「自像」「肖像」「ヌード」「ある場面」「こども」の5つのテーマにより、洋画、日本画、写真、彫刻、版画、素描の合計53点を展示。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、日本海新聞みみちゃんクラブ、山陰中央新報さんさんクラブ、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金 *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3(木・祝)、11/19(土)、11/20(日)の3日間 (期間中入場者数:402人)
学芸員によるギャラリートーク	11/12(土) 11/26(土)	(20)	解説:青戸副館長兼主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(2)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、より楽しめる鑑賞を促した。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>②教育普及事業</b>			
<b>ミュージアムスクール</b>	<b>全4回</b>		
木口木版ワークショップ (企画展開連事業)	7/31(日)	10(※)	講師:鈴木康生氏(版画家) 会場:米子市明道公民館 第1研修室 参加費:1,100円(材料費)
ワークショップ「絵画レッスンABC」	10/10(月・祝)	14(※)	講師:米子美術家協会会員(加藤哲英氏、倉鋪悠氏、中野勝喜氏、濱田美由紀氏、浜野洋一氏) 会場:米子市明道公民館 第1研修室 参加費:500～1,000円(材料費)
アートな散歩 ～街のなかのアートと歴史を探そう～ (米子市美術館・米子市立山陰歴史館連携事業/ フレイル予防事業)	10/16(日)	24(※)	解説:喜多村主幹学芸員、(山陰歴史館)山本副館長 会場:米子市文化ホール→米子駅周辺→西部総合事務所 周辺→米子市文化ホール 参加無料
美術上映会 「4Kでよみがえる浮世絵2 歌川広重『名所江戸百景』」	R5.3/12(日)	43	米子市美術館開館40周年記念特別共催展「大広重展～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～」関連事業として、歌川広重及び浮世絵に関連した美術上映会を行った。2017年製作、46分、4K・VR徳島映画祭2017優秀賞受賞作品。上映とともに、学芸員による解説も行った。 会場:第1展示室 解説:前田学芸員 参加無料、事前申込
<b>出前講座</b>	<b>全3回</b>		
「アート鑑賞会 淀江ゆかりの作家たち ～米子市美術館収蔵品を中心に～」	6/15(水)	21(※)	依頼元:米子市淀江公民館 解説:喜多村主幹学芸員 場所:淀江公民館
「米子彫刻ロード解説」 (東京大学 フィールドスタディ型政策協働プログラム)	9/25(日)	8(※)	依頼元:中海・宍道湖・大山園城市長会 会場:米子市文化ホール～米子コンベンションセンター～新加茂川沿い～湊山公園艇庫 講師:井田勝己氏(彫刻家) 案内補助:青戸副館長兼主幹学芸員
米子市小学校図画工作研究部会研修	1/6(金)	33(※)	依頼元:米子市小学校図画工作研究部会 会場:米子市立箕蚊屋小学校体育館 講師:青戸副館長兼主幹学芸員
米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏の子ども体験教室 「リサイクル工作でランプシェードを作ろう！」	7/23(土)	8(※)	講師:上田輝美氏(米子工業高等専門学校) 会場:米子市淀江文化センター 会議室2
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2022	9/24(土)	1,078(※)	米子市文化財団の12施設が集まり、1日限定の昔遊び、工作、ステージイベントなどを展開。美術館ブースでは「レッツリメイクエコグッズ!!」と題し、過去の展覧会ポスターを活用したペーパーバッグやチラシを利用したぼち袋を作るワークショップを実施、40人参加。 会場:米子市伯耆古代の丘公園 おまつり広場
博物館実習受入	随時	-	1人受入(京都外国語大学)
インターンシップ受入	随時	-	7人受入(鳥取環境大学1人、島根大学2人、ノートルダム清心女子大学1人、米子北高等学校2人、梅光女子大1人)
「総合的な探究の時間」受入	8/9(火)	-	1人受入(「みらいチャレンジ活動」鳥取県立米子西高等学校)
「総合的な学習」受入	11/10(木)	-	6人受入(「地域を知ろう～地域の再生に向けて努力する人々と地域社会～」米子市立湊山中学校)
特別観覧	12/8(木)	(18)	たたらと刀剣をテーマとした旅行商品造成事業のためのモニターツアー(刀剣及び拵の特別観覧) 主催:大山山麓・日野川領域観光推進協議会 解説:森井徳訓氏(刀剣研師) 解説補助:青戸副館長兼主幹学芸員 場所:第5展示室
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会、年間スケジュール広報発送補助、視聴受付員補助研修、共催展視聴受付補助、アートな散歩参加者補助、新聞スクラップ整理作業等 54回のべ80人活動(第8期2年目・33人登録)
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、貸館時は1階ホールに一般入館者を対象にしたアンケートと回収箱を設置した。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Twitter上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
レファレンスサービス	随時	-	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに対応し情報提供した
フレイル予防等推進事業	随時	-	フレイル予防等を考慮し、対話型鑑賞をコレクション展やアートな散歩などと関連して実施した。
美術館オリジナルグッズ製作	①10月 ②1月22日 発売開始	-	①トートバッグ4種(美術館ロゴ白黒、笹鹿彪《小鳥屋》、香田勝太《猫と芍薬》) ②クリアファイル1種(伊谷賢蔵《伯耆大山晩秋》)
<b>③資料収集事業</b>			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入 年2回(9月、3月) 令和2年度新収蔵版画作品マット装(関野準一郎《椿と鬼灯》ほか7点)
収蔵品の貸出等	随時	-	鳥取県立博物館 移動美術館・南部展「もっとはんがりましたよ。」(キナルなんぶ)へ 版画用プレス機1点貸出 「鉄道と美術の150年」(東京ステーションギャラリー)へ 岩佐保雄《踏切を守る母子》ほか計2点貸出 画像貸出6件(13点)
収蔵品状況			洋画204点、日本画93点、素描294点、 彫刻34点、書10点、版画364点、写真841点、 工芸1点、資料75点 合計1,916点
<b>その他事業</b>			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
年報発行	随時	-	隔年報として令和3・4年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめる。本年度は発行準備年。
戸田海笛《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの点検・清掃	2/20(月)	-	昨年度本格的に《喜怒哀楽の図》原型よりブロンズ鑄造を行なった黒谷美術(株)によるメンテナンス作業を行い、通常の点検・清掃作業手順の指導を受けたことを基に、インターンシップ実習生とともに職員で清掃作業を行なった。
開館記念日イベント	6/17(金)	-	米子市展会期中の当日来場者206人に収蔵作品ポストカードプレゼント
井上幸夫・英子コレクション展示替等	6/24(金) 9/13(火) 12/9(金) 3/24(金)	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施。
令和4年度主催事業入場者数合計(人)		<b>46,796</b>	美術館外で実施したもの(※)及びギャラリートークなど入場者が重複しているもの( )は除く

②貸館事業 (令和4年度分)

会期	展覧会名	展示室	入場者数(人)		備考
			小計	合計	
4/1~4/11	第64回 新協展	1~5	-	2,386	主催/新日本海新聞社、山陰新協美術会
6/24~6/28	永井俊郎絵画展	1	588	1,071	主催/同展実行委員会
	米子美術家協会小品展	3	652		
	ガッツガイナレ応援書道展	4	699		
7/1~7/5	二科会写真部鳥取支部展	1	491	796	
	伯耆書院展 ~私の原点 母校の校歌を書く~	4	649		
7/8~7/12	第7回 国展・とつとりの会	1	-	201	
7/15~7/26	山田敏和写真展「アフリカ 部族への敬意」	1	-	593	
7/23~7/24	第36回 日本習字鳥取県西部地区書道展	3・4	-	700	主催/同展実行委員会
9/2~9/6	第53回 美術集団ゼム作品展	1	406	864	米子市秋の文化祭参加事業
	第37回 米子写真倶楽部作品展	3	455		米子市秋の文化祭参加事業
	第63回 チャーチル会米子作品展	4	606		米子市秋の文化祭参加事業
9/9~9/13	第26回 ビスターレ絵画展	1	576	690	米子市秋の文化祭参加事業
	日本風景写真協会鳥取支部写真展「四季彩々」	3	383		米子市秋の文化祭参加事業
9/16~9/20	第42回フォトクラブピノキオ写真展	1	496	619	米子市秋の文化祭参加事業
	福島絵画教室生徒展	3	411		
9/23~9/27	第21回 鳥取県西部地区アンデバンダン絵画展	1	693	996	米子市秋の文化祭参加事業
	第53回 写真集団ゼロ作品展	3	571		米子市秋の文化祭参加事業
	鳥取県書写書道教育研究会 生徒条幅展	4	439		米子市秋の文化祭参加事業
9/30~10/4	第4回 仁愛書院展	1	927	1,372	米子市秋の文化祭参加事業
	'22 山陰新協米子展	3	528		米子市秋の文化祭参加事業
	鳳水書院展 因幡・伯耆・石見で過ごした萬葉の歌人たち	4	931		
10/21~10/25	第14回 米子陶友会展	1	985	2,276	米子市秋の文化祭参加事業
	イマージュガラス工芸教室 第34回「彩りの時間に」	2	1,460		米子市秋の文化祭参加事業
	第43回 龍心展	3	673		米子市秋の文化祭参加事業
	第81回 米子美術家協会展	4	1,063		米子市秋の文化祭参加事業
10/21~11/1	米子市文化協議会鑑賞4団体紹介展	5	-	462	米子市秋の文化祭参加事業
10/28~11/1	第24回 透明水彩で描く水彩画作品展	1	1,018	2,139	米子市秋の文化祭参加事業
	第50回 米子墨彩会水墨画展	3	710		米子市秋の文化祭参加事業
	第14回 たまいつかさとアトリエKの子どもたち「ソウゾウのちから展」	4	1,621		米子市秋の文化祭参加事業
11/4~11/8	第27回 米子市写真家協会展	1	683	794	米子市秋の文化祭参加事業
	サークル"U"写真展「それぞれの視線」	3	373		米子市秋の文化祭参加事業
11/11~11/15	第41回 麗山書院展	1	613	2,471	米子市秋の文化祭参加事業
	第62回 中美展(生徒展・中学校美術教員作品展)	3・4	2,288		米子市秋の文化祭参加事業
11/18~11/22	第36回 米子工芸会展	1	590	833	米子市秋の文化祭参加事業
	第39回 米子地区書道連盟展	3・4	558		米子市秋の文化祭参加事業
	第58回 米子かこう会作品展	5	252		米子市秋の文化祭参加事業
11/25~11/29	第55回 麓人展	1	549	983	米子市秋の文化祭参加事業
	心の針仕事 第15回パッチワークキルト展	3・4・5	819		米子市秋の文化祭参加事業
12/3~12/11	令和4年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとつとりの展	1~4	-	760	主催/鳥取県
12/17~12/26	第20回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)	3・4	-	2,214	主催/鳥取県、鳥取県教育委員会
12/23~12/27	令和4年度 シニア作品展	1・2	-	447	主催/鳥取県
1/12~1/16	Challenged フォトクラブ & 師匠と愉快的仲間達	3	-	223	主催/NPO法人地域活動支援センターおおぞら
2/16	尾山作品写真撮影	5	-	5	主催/伯耆書院
2/23~2/26	令和4年度 鳥取県文化功労賞受賞記念巡回展	3	-	848	主催/鳥取県
2/25~2/26	あけぼの幼稚園 園児絵画展	4	-	913	
3/3~3/7	第16回 ふれあいの里合同展	1	519	640	主催/旭ビル管理(株)
	第55回 米子書芸院展	4	405		
3/10~3/14	第44回 鳥取県書道連合会展	3・4	-	653	
3/17~3/21	毛利輝作品展 19年の軌跡~描く向こう側に~	1	943	1,258	主催/あいサポート・アートセンター
	バードカービング展 えんどうのぼると仲間たち	2	976		主催/遠藤 登
3/24~3/28	第2回 心月書院展	1	-	416	
貸館事業入場者数合計			利用件数 52件	28,623	利用料収入 2,336,579円

①主催事業

は1月以降実施予定事業

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>管理運営等事業</b>			
<b>展覧会事業</b>			
<p>開館40周年記念特別共催展 <b>大広重展</b> ～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～</p> <p>主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館、新日本海新聞社</p> <p>特別協賛:山陰酸素グループ 監修:中右 瑛(国際浮世絵学会常任理事) 企画協力:ステップ・イースト</p> <p>関連事業:</p>	<p>4/7(金) ～5/22(月) 会期中無休 [46日間]</p>	<p>11,922</p>	<p>浮世絵風景画の名手、歌川広重(1797-1858)の名作《東海道五拾三次》を中心とした、中右 瑛コレクションによる浮世絵展。 第1章は広重の《東海道五拾三次》55点全てを展覧し、晩年の鳥瞰図《五十三次名所図会》とともに特別展示の葛飾北斎《小判五十三次》と3作品で比較展示。第2章は「初期の美人画から風景画のはじまりー完成・円熟時代」、第3章「多彩な画風ー花鳥画・戯画・物語絵」、第4章「晩年の風景画ー名所江戸百景・風景画の集大成」、第5章「卓越した描写力の肉筆画」、第6章「雪月花ー絵師たちが描いた叙情の世界」で構成した。 浮世絵コレクター中右 瑛氏の、初代歌川豊国、国貞など名だたる絵師たちの「雪月花」も紹介し、あわせて全286点を紹介。 会場:第1～4展示室 観覧料:一般 1,200(前売1,000)円、小中高大生 500円(前売・当日共通)、未就学児無料 *一般で15人以上の団体、障がいのある方(付添1人を含む)は前売料金 *70歳以上の方、小中高大生で15人以上の障がいのある方(付添1人を含む)、日本海新聞みみちゃんクラブ・米子市美術館後援会・Feel友の会・米子市歴史館友の会会員は当日料金の100円割引 *「とっとり子育て応援パスポート」・「しまね子育て応援パスポート」提示で当日券の100円割引</p>
講演会「広重 東海道五十三次のミステリー」	4/8(土)	(54)	会場:米子市立図書館 多目的研修室 解説:中右 瑛氏(国際浮世絵学会常任理事)
ギャラリートーク	4/8(土)	(81)	解説:中右 瑛氏(国際浮世絵学会常任理事)
学芸員によるギャラリートーク	4/6(木) 4/15(土) 4/29(土・祝) 5/13(土) 5/20(土)	(249)	解説:青戸副館長兼主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(29)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
オリジナルコースタープレゼント	4/12(水) 4/19(水) 4/26(水) 5/3(水・祝) 5/10(水) 5/17(水)	(600)	各日先着100人にオリジナルコースタープレゼント
こどもの日小中高生無料開放日	5/5(金・祝)	(51)	こどもの日にちなみ、5/5限定で小学生・中学生・高校生入場無料開放日とした。
<p><b>第62回 米子市美術展覧会(市展)</b></p> <p>主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館</p> <p>関連事業:</p>	<p>6/9(金) ～6/17(土) 会期中無休 [9日間]</p>	<p>2,106</p>	<p>市民から公募した7部門(洋画、日本画、書道、写真、工芸、彫刻、デザイン)298点を展示。 *初日開会式にて、リコーダークラブ たまごサンドとアップルティ(米子市音楽祭出演団体)による演奏披露、表彰式、審査講評を実施。 会場:全館 観覧料:無料</p>
おやこでアートじかん	6/12(月)	(2)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)と一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<p>開館40周年記念 特別企画展 <b>井田幸昌展  </b> <b>パンタ・レイー世界が存在する限り</b></p> <p>主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館</p> <p>特別協賛: 中海テレビ放送 協賛: 株式会社サンエムカラー 協力: IDA Studio</p> <p>関連事業:</p>	<p>7/22(土) ～8/27(日) [32日間]</p>	5,875	<p>「一期一会」をテーマに、絵画を中心に彫刻や版画など幅広い分野で創作活動を展開し、国内外で活躍中の井田幸昌(1990年鳥取県日吉津村生まれ)にとって初めてとなる国内美術館での個展。国内未発表作を含むこれまでの絵画作品、立体作品に加えて、家族、友人、著名人をモチーフに描いた“Portrait”シリーズ、絵日記のように日々綴った“End of today”シリーズなどの代表作から最新の作品まで65点を一堂に展覧。</p> <p>会場: 第1～4展示室 観覧料: 一般1,300(前売1,000)円、高校・大学生900(前売800)円、中学生以下無料 *15人以上の団体、障がいのある方(付添の方1人含む)は前売料金 *70歳以上の方、米子市美術館後援会、米子市歴史館友の会、Feel友の会会員・鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館チケット・年間パスポート、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」提示で当日券の100円割引</p>
作家によるオープニングギャラリートーク	7/22(土)	(238)	解説: 井田幸昌 氏(本展出品作家)
作家によるトークイベント	7/22(土)	(98)	講師: 井田幸昌 氏(本展出品作家) 会場: 米子市立図書館 多目的研修室
学芸員によるギャラリートーク	7/29(土) 8/12(土) 8/26(土)	(118)	解説: 喜多村調整官兼主幹学芸員
作家によるギャラリートーク(追加開催)	8/27(日)	(290)	解説: 井田幸昌 氏(本展出品作家)
作家によるサイン会(追加開催)	8/27(日)	(123)	出席: 井田幸昌 氏(本展出品作家)
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(57)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
<p>開館40周年記念 コレクション企画展 I 写真編 <b>「芸術写真」</b></p> <p>主催: 米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館</p> <p>関連事業:</p>	<p>9/10(日)～ 10/9(月・祝) [26日間]</p>	1,004	<p>当館はこの地の芸術的写真活動の重要性を鑑み、1989年から「写真収集5カ年計画」を実施し、現在、写真作品は841点収蔵。大正末に米子最初のアマチュア写真団体「米子写真友会」が誕生して以来、植田正治、岩宮武二、杵島隆ら郷土出身の写真家とともに「中国写真家集団」、「銀龍社」、「写真家集団エタン派」などが結成され、写真活動が盛んであった。本展では、昭和期の芸術写真を、郷土ゆかりの写真家とその関連作家の作品で136点展示。</p> <p>会場: 第2展示室 観覧料: 一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金</p>
美術講演会 米子市美術館写真コレクションについて 演題: 米子市美術館開館40周年記念・写真コレクションの形成 「植田正治と戦前・戦後の仲間たち」	9/10(日)	(52)	講師: 葛谷典子氏 (島根県立美術館主任学芸員、元・米子市美術館学芸員) 会場: 米子市立図書館 多目的研修室
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	9/16(土) 9/30(土)	(21)	解説: 青戸副館長兼主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(2)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
<p>共催展 <b>共に生きるアート展 KANSEI 10</b> ～障がいのある人たちが創造するカタチ～</p> <p>主催: 米子市 共催: 米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館</p>	<p>9/19(火) ～9/25(月) [6日間]</p>	826	<p>市内の障がい者施設に入通所している方による美術作品173点を展示。 会場: 第4展示室 観覧料: 無料</p>

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<b>第67回 鳥取県美術展覧会(県展)</b> 主催:鳥取県、鳥取県教育委員会、新日本海新聞社 共催:米子市美術館、倉吉博物館、日南町美術館	10/14(土)～ 10/22(日) 会期中無休 [9日間]	2,134	県民から公募した8部門(洋画、日本画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン)のうち入選作品414点を展示。 会場:全館 観覧料:無料 *初日、審査員による講評とギャラリートークを実施
開館40周年記念 コレクション企画展Ⅱ 版画編 <b>「奥深き表現世界」</b> 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	10/29(日) ～12/3(日) [31日間]	2,175	開館当初より、収集方針の柱のひとつとして豊富なコレクションの形成を進めている近・現代を中心とした収蔵版画作品の中から凸版(木版など)・凹版(銅版など)・平版(石版)・孔版(シルクスクリーンなど)といった様々な技法による版画表現の魅力や奥深さを58点の作品により紹介した。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金 *「文化の日」「関西文化の日」無料開放日 11/3、11/18、11/19の3日間 (期間中入場者数:745人)
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	11/11(土) 11/25(土)	(18)	解説:喜多村調整官兼主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜	(0)	小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその保護者とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月・金曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるペーパークイズを据置配布して、より楽しめる鑑賞を促した。
開館40周年記念 コレクション企画展Ⅲ 洋画編 <b>「名品選」</b> 主催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館 関連事業:	R6.1/21(日) ～2/18(日) [25日間]		東京美術学校(現・東京藝術大学)で学び、郷土の芸術文化の復興普及と向上を願い結成された「麓人会」の発起人のひとりである香田勝太(1885～1946/日野郡溝口町[現・西伯郡伯耆町]出身)や日展審査員・評議員・参与を歴任した笹鹿彪(1901～1977/米子市出身)など丹念に調査研究を続け掘り起こしてきた郷土ゆかりの洋画家の作品や地元豊かな自然や風物を題材にした作品など35点の名品を選びすぐって展観。 会場:第2展示室 観覧料:一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金
ギャラリートーク(学芸員による展示解説)	2/3(土) 2/17(土)		解説:喜多村調整官兼主幹学芸員
おやこでアートじかん	会期中 毎週月曜		小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促す。
共催展 <b>鳥取県アートミュージアム連携協議会            共同企画展            DRAWING ADDICT!! ーハマる素描</b> 主催:鳥取県アートミュージアム連携協議会 共催:米子市、米子市教育委員会、 (一財)米子市文化財団 米子市美術館	R6.1/21(日) ～2/18(日) [25日間]		鳥取県アートミュージアム連携協議会加盟館の所蔵作品および資料を中心として、素描とは何かという問いのもと、オールジャンルの作家が手がけたあらゆる種類の素描を展観。各ミュージアムには幾多の素描類が所蔵されているものの、往々にして副次的資料と位置付けられるため、展示の機会には実に限られている。本展では、素描の歴史を辿りながら、豊かな素描資料群の存在と併せてその多様な魅力を紹介。鳥取県立博物館、鳥取民藝美術館、倉吉博物館、日南町美術館、米子市美術館、各館所蔵または関係者所蔵作品98点を展示。 会場:第1展示室 観覧料:一般330(270)円 ※コレクション企画展Ⅲと共通料金

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
<p>開館40周年記念 コレクション企画展Ⅳ 日本画・書・工芸／彫刻編</p> <p><b>「自然のすがた／作品は語る」</b></p> <p>主催：米子市、米子市教育委員会、 (一財) 米子市文化財団 米子市美術館</p> <p>関連事業：</p>	<p>R6.2/23 (金・祝) ～3/24(日)</p> <p>[28日間]</p>		<p>日本画・書・工芸編では、自然をモチーフとして描かれた作品に焦点を当て、自然が芸術という領域で作家の手によりどのように表現されてきたかを紹介。彫刻編では、郷土ゆかりの彫刻作家の具象作品を中心に、連続と受け継がれる郷土の彫刻の歴史をたどり、作品が語るストーリーとあわせて展観する。</p> <p>会場：第2展示室</p> <p>観覧料：一般330(270)円 *大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方(付添の方1名含む)及び米子市美術館後援会会員は無料 *( )内は15人以上の団体、Feel友の会、米子市歴史館友の会会員、鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館のチケット・年間パスポート等、「とっとり子育て応援パスポート」「しまね子育て応援パスポート」をお持ちの方の料金</p>
<p>ギャラリートーク(学芸員による展示解説)</p>	<p>3/2(土) 3/16(土)</p>		<p>解説：青戸副館長兼主幹学芸員、前田学芸員</p>
<p>おやこでアートじかん</p>	<p>会期中 毎週月曜</p>		<p>小さな頃から美術館及び美術に親しんでいただくことを目的に、未就学児とその親(父母・祖父母など)とが一緒に作品鑑賞する時間を会期中の毎週月曜日午前10時～正午に設定。展示作品の細部に着目できるシートを配布して、より楽しめる鑑賞を促す。</p>
<b>教育普及事業</b>			
<b>ミュージアムスクール</b>	<b>全4回</b>		
<p>テープでアート ちぎり絵で花火をつくろう (米子市美術館・米子市児童文化センター連携事業)</p>	<p>8/7(月)</p>	<p>34(※)</p>	<p>米子市美術館・米子市児童文化センター職員を講師として、模造紙上にカラフルなテープを切り貼りし、花火のちぎり絵を制作した。 会場：米子市明道公民館</p>
<p>自然でつくってあそぼう (米子市美術館・米子市児童文化センター連携事業)</p>	<p>10/8(日)</p>	<p>24(※)</p>	<p>米子市美術館・米子市児童文化センター職員を講師として、秋の風物詩である木の実やわらなどを使い、小物やミニぼうきを制作した。 会場：創作交流広場</p>
<p>アートな散歩 ～淀江の史跡を巡る～ (米子市美術館・上淀白鳳の丘展示館・米子市立山陰歴史館連携事業/フレイル予防事業)</p>	<p>10/15(日)</p>	<p>9(※)</p>	<p>会場：上淀白鳳の丘展示館周辺史跡 解説：笹尾副館長、井上統括学芸員補佐(上淀白鳳の丘展示館)、山本副館長(米子市立山陰歴史館)、喜多村調整官兼主幹学芸員</p>
<p>美術上映会「謎の天才画家 ヒエロニムス・ボス」</p>	<p>R6.3/3(日)</p>		<p>ヒエロニムス・ボスの最高傑作にして最も異彩を放つ《快樂の園》。各界の知識人たちが本作に対峙しさまざまな角度から挑み、ボスと絵画の謎に迫る映像作品。 会場：第3展示室 監督：ホセ・ルイス・ロペス＝リナレス 2016年/本編尺90分/日本語字幕 解説：前田学芸員</p>
<b>出前講座</b>	<b>全2回</b>		
<p>米子市美術館概要、特別共催展展示解説</p>	<p>5/19(金)</p>	<p>33(※)</p>	<p>依頼元：米子市小学校教育研究会 図画工作部 講師：中村館長、青戸副館長兼主幹学芸員 場所：米子市美術館、米子市立図書館 研修室1</p>
<p>鳥取県立米子高等学校「産業社会と人間」</p>	<p>7/4(火)</p>	<p>31(※)</p>	<p>依頼元：鳥取県立米子高等学校 会場：鳥取県立米子高等学校 総合実習棟2階 講師：青戸副館長兼主幹学芸員</p>
<p>米子市文化財団・米子工業高等専門学校連携事業 夏休みこども体験教室 ジオラマを作ろう！</p>	<p>8/22(火)</p>	<p>15(※)</p>	<p>会場：米子市淀江文化センター イベントホール 講師：上田輝美氏(米子工業高等専門学校)</p>
<p>米子市文化財団連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2023</p>	<p>9/23(土・祝)</p>	<p>2,045(※)</p>	<p>米子市文化財団の12施設が集まり、1日限定のワークショップ、工作、ステージイベントなどを展開。美術館ブースでは「コラージュアート」と題し、過去の展覧会チラシを活用しコラージュ作品を作るワークショップを実施、84人参加。各施設ブースをめぐるスタンプビンゴでは、各施設のオリジナルポストカードを参加者243人にプレゼントした。 会場：米子市文化ホール</p>
<p>各種団体等との連携事業</p>	<p>随時</p>	-	<p>AIR475 2023報告会などに参加、令和6年度に向けての協力体制を図った。また、鳥取県アートミュージアム連携協議会共同企画展として「DRAWING ADDICT!! ーハマラス素描」を当館で開催。</p>

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
【新規】美術館・図書館連携事業	特別共催展・特別企画展等会期中	-	特別共催展「大広重展～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～」及び特別企画展「井田幸昌展   パンタ・レイー世界が存在する限り」、コレクション企画展 I 写真編「芸術写真」の展覧会開催中に、隣接している米子市立図書館に関連図書コーナーを設置し、市民により深く関心を持ってもらう連携事業を行った。
【新規】美術館・カフェ連携事業	特別共催展・特別企画展等会期中	-	美術館展覧会開催に合わせ、隣接しているフルーツカフェサエキの協力により、コラボメニューなど考案。特別共催展「大広重展～東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界～」会期中はコラボメニューとして「東海道五拾三次 とある峠の茶屋のあんみつ」を、特別企画展「井田幸昌展   パンタ・レイー世界が存在する限り」ではコラボメニュー「パンタ・冷」をカフェにて販売。SNSなどで配信し特別共催展・特別企画展をPRし、連携した。
フレイル予防等推進事業	随時	-	フレイル予防等を考慮し、アートな散歩などに関連して実施した。
博物館実習受入	随時	-	1人受入(武蔵野美術大学1人)
インターンシップ受入	随時	-	2人受入予定(安田女子大学1人、広島経済大学1人)
職場体験学習受入	随時	-	8人受入(米子市立湊山中学校、米子市立後藤ヶ丘中学校、米子北高等学校)
「総合的な学習」受入	11/9(木)	-	7人受入(総合的な学習インタビュー活動「地域を知ろう～地域の再生に向けて努力する人々と地域社会～」米子市立湊山中学校)
特別観覧	11/28(火)	(3)	収蔵品特別観覧対応 (木山義喬『漫画四人書生』原画の一部、デッサン10点) 解説:青戸副館長兼主幹学芸員 喜多村調整官兼主幹学芸員、前田学芸員 場所:第4展示室
サポーター(ボランティア)	通年	-	展覧会広報補助、展覧会関連事業補助等 31回活動(第9期1年目・31人登録)
アンケート	通年	-	展覧会・イベント来場者に配布し意見・要望等を回収、貸館時は1階ホールに一般入館者を対象にしたアンケートと回収箱を設置した。
レファレンスサービス	通年	-	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに真摯に対応し情報提供
ホームページによる情報提供	通年	-	展覧会情報、貸館展示情報、展示室空き状況、チケット取扱等随時更新
SNSによる情報発信	随時	-	Instagramを新たに開設し、あわせてX(旧Twitter)上で展覧会関連情報・イベント関連情報やトピックをリアルタイムで発信
資料収集事業			
郷土関係作家、次年度以降事業資料収集	通年	-	収蔵作家関係、地元作家、若手作家関係調査 次年度企画展等実施に向けた調査等
収蔵作品・資料データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵図書データベース化	通年	-	収蔵品管理システム入力
収蔵品の修理・修復	随時	-	米子市所蔵及び寄託刀剣手入
収蔵品の貸出等	随時	-	白日会創立百周年記念展 特別陳列展 「-白日会百年の軌跡-」(国立新美術館)へ 香田勝太《芍薬》《藤図》計2点貸出予定
収蔵品状況			洋画204点、日本画93点、素描294点、 彫刻34点、書10点、版画364点、写真841点、 工芸1点、資料75点 合計1,916点
その他事業			
展覧会図録等の売捌	通年	-	既刊展覧会図録や所蔵品目録などの販売
開館記念日イベント	6/17(土)	-	米子市展会期中の当日来館者317人に収蔵作品ポストカードをプレゼント。また抽選で米子市美術館オリジナルグッズをプレゼント

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	備考
戸田海笛《喜怒哀楽の図》ブロンズレリーフの点検・清掃	9/1(金)		令和3年度に《喜怒哀楽の図》原型よりブロンズ鋳造を行なった黒谷美術(株)によるメンテナンス作業を行い、通常の点検・清掃作業手順の指導を受けたことを基に、職場体験学習生とともに職員で清掃作業を行なった。
年報発行	12月	-	隔年報として令和3・4年度の2ヶ年分の美術館活動報告をまとめた。巻末に開館以降の展覧会実施状況などを収録。
井上幸夫・英子コレクション点検等	6/9(金) 9/12(火) 12/14(木) 3/8(金)	-	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施
【新規】燻蒸	R6.1/15(月) 3/29(金)	-	5年に1回全館の虫・カビの燻蒸作業をおこなう。本年度は実施年度。
令和5年度12月までの主催事業入場者数合計(人)		<b>26,042</b>	美術館外で実施したもの(※)及びギャラリートークなど入場者が重複しているもの( )は除く
(前年同月実績)		42,473	

②貸館事業 (令和5年12月末現在)

会期	展覧会名	展示室	入場者数(人)		備考
			小計	合計	
6/23～6/27	木目込人形・ニット展	3	520	615	主催/深田淑子手芸編物教室
	山陰読売写真クラブ(YPC) 創立20周年記念写真展	5	318		
6/23～7/4	指画家・濱田珠鳳遺作展	1・2	-	3,627	主催/濱田珠鳳遺作実行委員会、アトリエ寶珠庵
6/24～6/25	第37回 日本習字鳥取県西部地区書道展	4	-	869	主催/同展実行委員会
6/30～7/4	伯耆書院展	4	1,062	1,240	主催/星を見る会
	星を見る会	5	598		
7/1～7/4	ボタンバラ 押花額絵展	3	-	805	主催/ふしぎな花倶楽部カトリア押花会
7/7～7/11	2023 第43回 山陰二紀展	1	362	573	
	二科会写真部鳥取支部展	3	465		
9/1～9/4	第51回日本の書展米子展	1～4	-	667	主催:山陰中央新報社(公財)全国書美術振興会
9/8～9/12	第54回美術集団ゼム作品展	1	513	1,142	米子市秋の文化祭参加事業
	第38回米子写真倶楽部作品展	3	563		
	第64回チャーチル会米子作品展	4	820		
9/15～9/19	第43回フォトクラブ・ピノキオ写真展	1	453	558	米子市秋の文化祭参加事業
	日本風景写真協会鳥取支部写真展 四季彩々	3	353		
9/22～9/26	第22回鳥取県西部地区アンデパンダン絵画展	1	658	827	米子市秋の文化祭参加事業
	第54回写真集団ゼロ作品展	3	565		
9/29～10/3	第15回米子陶友会展	1	540	797	米子市秋の文化祭参加事業
	'23 山陰新協米子展	3	465		
	鳥取県書写書道教育研究会生徒条幅展	4	394		
10/5～10/10	とりたん住居・デザイン専攻学修成果展覧会	4	-	227	主催/鳥取短期大学
10/6～10/10	第25回透明水彩で描く水彩画作品展	1	752	886	米子市秋の文化祭参加事業
	第1回 つきいちアトリエ作品展	3	448		
10/27～10/31	イマージュガラス工芸教室 第35回「彩りの時間に」	1	1,116	1,533	米子市秋の文化祭参加事業
	第51回米子墨彩会水墨画展	3	661		
	第82回米子美術家協会展	4	730		
11/3～11/7	第28回米子市写真家協会展	1	803	2,096	米子市秋の文化祭参加事業
	第44回龍心会書道展	3	417		
	第15回たまいつかさアトリエKūの子どもたちソウゾウのちから展	4	1,730		
11/10～11/14	第10回実紀の会洋画展	1	552	1,917	米子市秋の文化祭参加事業
	第63回中美展(生徒展・中学校美術教員作品展)	3・4	1,752		
11/17～11/21	第37回米子工芸会展	1	808	997	米子市秋の文化祭参加事業
	第40回米子地区書道連盟展	3・4	633		
11/21	米子地区書道連盟 筆供養受付	5	-	50	主催/米子地区書道連盟
11/24～11/28	第56回麓人展	1	640	871	米子市秋の文化祭参加事業
	第42回麗山書院展	3	500		
	第59回米子かこう会作品展	5	271		
12/1～12/5	第5回仁愛書院展	1	639	740	米子市秋の文化祭参加事業
	第77回日本水彩画会山陰支部展	3	337		
12/9～12/17	令和5年度 鳥取県障がい者芸術・文化作品展 あいサポート・アートとっとり展	1～4	-	664	主催/鳥取県
12/22～12/24	第50回 在日朝鮮学生美術展	1・2	-	331	主催/在日朝鮮学生美術展山陰地区実行委員会
12/23～12/28(～1/7)	第21回鳥取県ジュニア美術展覧会(ジュニア県展)	3・4	-	991	主催/鳥取県、鳥取県教育委員会
貸館事業入場者数合計			利用件数 42件	23,023	利用料収入 1,993,339円
(前年同月実績)			42件	23,667	2,202,231円

## 令和6年度 米子市美術館事業計画書

### 1 基本方針

- (1) 市民に親しまれる美術館をめざし、地域文化の創造に寄与する。
- (2) 市民の文化に対する知識及び教養の向上に資するよう努める。
- (3) 広く市民に美術作品等の発表の場を提供し、文化交流の発展に努め、美術館の利用促進を図る。
- (4) 様々な自主事業を展開し、地域社会の文化の核としての機能を充実させることにより市民と共存する美術館をめざす。
- (5) 市民ニーズに対応するための多様な情報を提供・発信する。
- (6) 長年の管理運営実績で培った適切な方法により、美術館を維持管理する。

### 2 重点施策

- (1) 芸術文化の鑑賞機会の提供  
特別企画展〈1本〉、特別共催展〈2本〉、共催展〈2本〉、コレクション展〈2本〉を企画・開催し、芸術性の高い多彩な美術作品を紹介し、美術愛好者の拡大に努める。
- (2) 美術資料の収集・保管・調査研究  
米子市美術館条例に則り、美術資料の収集・保管を行い、良好な状態で次世代に継承する。郷土作家の掘り起こしを中心に調査研究を継続し、米子を中心とした美術の発信地の役割を果たす。
- (3) 収蔵作品・資料データベース化  
収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによるデータベース化をより一層図る。
- (4) 収蔵図書資料のデータベース化  
図書管理システムにより、当館で収蔵している画集や美術展カタログ等新規追加分を含め図書資料のデータベース化を継続して行う。
- (5) 生涯学習活動とコミュニティ活動の支援  
美術講演会やワークショップ等の教育普及活動を行い、幅広い市民を対象に積極的な参加型の生涯学習の場を提供する。
- (6) 市民の発表の場の提供  
市展・県展・米子市秋の文化祭の運営に参画・協力し、作品の発表と鑑賞の機会を設け市民の美術振興に寄与し、また利用しやすいサービスを提供する。

#### 4 主催事業

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
管理運営等事業			
①展覧会事業			
特別共催展Ⅰ /山陰ビデオシステム 設立45年記念企画 佐藤健寿展 奇界/世界	これまで世界120ヵ国以上を巡り、各地のありとあらゆる“奇妙なもの”を対象に撮影を続けてきた写真家・佐藤健寿。独特の視点で切り取られる、世界中の多様な文化や建築・自然が生んだ奇景・奇妙に見える風俗を持つ人々などの不思議な世界は、見る者の好奇心と想像力をかき立ててきた。本展では、佐藤健寿の造語をタイトルとして出版され、人気を博した代表作『奇界遺産』をはじめ、過去20年にわたる旅をシンプルな視点で捉えた『世界』、国立民族学博物館所蔵の民族資料、さらに当館展示のために山陰地方で撮り下ろした作品など、200点あまりを一室に展示する。 入場有料、水曜日休館 ※ただし5/1(水)・5/8(水)は開館 入場者見込数 10,000人	4/7(日)～ 5/26(日) [45日間]	第1～4展示室 山陰ビデオシステムとの 共催事業
特別企画展 「米子の書- 先人と現代書の 祭典」 (仮称)	昭和20年以降の書家を中心に、児玉玉立(1794-1861)～現代書まで、米子(鳥取県西部)地区の書作品とともに書体の違いや、書の美しさ、書の楽しさなども併せて紹介。「米子の書」の発展と次世代へ繋ぐきっかけにする。関連事業として書道パフォーマンス、ワークショップ、おやこでアートじかん、ギャラリートークなどを毎週実施し、夏休みの美術館展覧会として、書の祭典を開催。 入場有料、水曜日休館 入場者見込数 3,000人	7/21(日)～ 8/25(日) [31日間]	第1・2・4示室
特別共催展Ⅱ MINIATURE LIFE展2 田中達也 見立ての世界	国内外各地で人気を集め令和4年度に当館でも開催した「MINIATURE LIFE展」がさらにバージョンアップ。日用品とジオラマ用人形を組み合わせ日常にある物を別の物に見立てたアート作品を作り出すミニチュア写真家・見立て作家の田中達也さんの独自の世界観が会場を埋め尽くす。作品とタイトルは思わずくすつと笑え、「さすが」と唸るものばかり。本展では写真作品約120点と立体作品約50点を展示し、地元限定作品も登場。 入場有料、会期中無休 入場者見込数 15,000人	令和7年2/8(土)～ 3/24(月) [45日間]	第1～4展示室 新日本海新聞社との 共催事業
コレクション展 I・II	コレクション展は美術館活動の基本であり、広く市民に当館の活動及び収集方針に沿った展示を行い、市民の美術文化の向上に資する。当館収蔵品を2期にわたって紹介する。会期中には対話型鑑賞も行い、より深く美術のことを知ってもらう契機とする。 入場有料、水曜日休館 入場者見込数 2,000人	・Ⅰ期：[25日間] 9/8(日)～ 10/6(日) ・Ⅱ期：[31日間] 10/27(日)～ 12/1(日)	第2展示室

事業名	目的・内容・ 入場料・入場者数(見込)	実施期間	備考
第63回 米子市美術展覧会 (市展)	広く市民から美術作品を募り、発表と鑑賞の機会を設けることにより美術の振興に寄与する。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 2,500人	6/14(金)～ 6/22(土) 会期中無休 [9日間]	第1～5展示室
第68回 鳥取県美術展覧会 (県展)	広く県民から美術作品を募り、優れた作品を展示することによって、創作活動の振興を図るとともに、鑑賞の機会を提供し、美術、文化の振興に寄与する。 入場無料、会期中無休 入場者見込数 3,000人	10/12(土)～ 10/20(日) 会期中無休 [9日間]	第1～5展示室
共催展 AIR475 2024 滞在成果発表展 (仮称)	2023年に現代作家として活動する白川昌夫(1948年-、しらかわ・よしお)氏と鎌田友介(1984年-、かまた・ゆうすけ)氏を招聘し、約1ヶ月にわたり米子を拠点にリサーチと滞在制作を実施した。本展ではその成果発表として、展示を米子市美術館において行う。 入場無料、水曜日休館 入場者見込数 2,500人	7/21(日)～ 8/25(日) [31日間] (調整中)	第3展示室 AIR475との共催事業
共催展 共に生きるアート展 KANSEI11 ～障がいのある人たちが 創造するカタチ～	米子市内の障がい者施設に入通所されている障がいのある方の作品を展示する。 入場無料、水曜日休館 入場者見込数 500人	10/1(木)～ 10/7(火) [6日間]	第4展示室 米子市との共催事業 (美術館は展示等担当)
②教育普及事業			
ミュージアム スクール	ワークショップ、アートな散歩(まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク)、上映会などを実施。 1) ワorkshop「書に親しもう!!」 ①「チャレンジ篆刻-方寸の世界-」(仮称) ②「生活の中の書作品を作ろう」(仮称) ③「書いてみよう」(仮称) 2) 美術館・歴史館・公会堂連携事業 「アートな散歩 ～中心市街地を巡る～」(仮称) 3) 美術上映会	1) 特別企画展会期中 2) 10/14(月・祝) 3) R7 1/19(日)	1) 第5展示室ほか 2) 米子市公会堂 周辺 3) 第3展示室
美術講演会	美術界の第一線で活躍されている方に講演してもらい、広く美術の知識を深める機会を提供する。	特別共催展 会期中	
ギャラリートーク (展示解説)、 鑑賞会	コレクション展及び特別展の展示解説を行い、展示作品の理解を深める機会を提供する。また未就学児と親のための鑑賞会(おやこでアートじかん)、認知症のかたと家族・パートナーのための鑑賞会、対話型鑑賞会など、あらゆる方の鑑賞の場を提供する。	コレクション展・ 特別企画展・ 特別共催展 会期中実施予定	(各展覧会に含む)
米子市文化財団・ 米子工業高等専門学校 連携事業	米子高専と米子市文化財団との連携事業の一環。 淀江文化センターとも連携しワークショップを中心に行う。	夏休み中で調整	米子市淀江文化 センター(予定)
米子市文化財団連携事業 米子市文化財団 カルチャー・ フェスティバル2024	米子市文化財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施する。	調整中	調整中

事業名	目的・内容	実施期間	備考
博物館実習の受入	大学・大学院生の学芸員資格取得のための実習の受入、市内中学校・高等学校等の職場体験の受入、就業のためのインターンシップ等の受入を行う。	随時	
各種団体等との連携事業	鳥取県、鳥取県ミュージアム・ネットワーク、他の美術・博物館などの各種団体等と連携を取りながら芸術美術の振興に努める。	随時	
美術館・図書館連携事業	展覧会及び関連事業開催中に隣接している米子市立図書館に関連図書コーナーを設置し、市民により深く関心を持ってもらう。	特別共催展・特別企画展等会期中	米子市立図書館内
美術館・カフェ連携事業	美術館展覧会及び関連事業開催中に隣接しているフルーツカフェサエキの協力により、コラボメニューなど考案し、美術館・カフェともに市民により親しみ楽しんでもらうためにおこなう。	特別共催展・特別企画展等会期中	フルーツカフェサエキ内
美術館サポーター	ボランティア組織作り及び研修等の指導を通し活動基盤を作ることににより、市民が主体的に美術館活動に関わる様々な機会を設ける。	通年	本年度は第9期2年目
出前講座	市内小・中・高等学校、公民館及び市内団体に向け、学芸員レクチャーや美術上映会、野外彫刻探検等を行う。	通年	
アンケート	自主事業来場者及び一般来場者に対し随時実施する。	通年	
ホームページによる情報提供	美術館の基本情報とともに最新情報、過去の実績など広く周知するために随時更新する。	通年	
SNSによる情報発信	展覧会やイベントの関連情報トピックをリアルタイムで発信する。	随時	
レファレンスサービス	郷土ゆかりの作家、美術・芸術家、展覧会、美術・博物館情報など市民からのあらゆる問い合わせに真摯に対応し情報提供をする。	通年	
フレイル予防等推進事業	フレイル予防等を考慮し、対話型観賞会（認知症の方と家族のための観賞会）や、アートな散歩（まちなか彫刻・芸術等探検ウォーク）などと関連して実施する。	通年	
③資料収集事業			
情報資料収集・調査	基本的な収集方針に基づき、作品・資料等の収集を行い収蔵品の充実を図り、保管にあたる。また当館の重要な収蔵品のうち、特に緊急な修復を必要とする作品について計画的に調査点検し担当課と協議の上、実施する。	通年	
収蔵作品・資料データベース化	収蔵作品をはじめ、未整理の作家関連の作家関連資料やスケッチ等をデジタルコンテンツ化し、収蔵品管理システムによりデータベース化する。	通年	
収蔵図書データベース化	収蔵画集や美術展図録等新規追加を含めデータベース化する。	通年	

事業名	目的・内容	実施期間	備考
④貸館事業			
貸館事業	個人・団体への展示室貸出を行い、芸術文化活動の場を提供する。	通 年	
⑤その他事業			
図録等の売捌	既刊展覧会図録や所蔵品目録、ポストカード、オリジナルグッズなどを販売する。	通 年	
年報発行	展覧会などの事業記録をまとめた年報を隔年発行する。本年度は令和5、6年度の実績をまとめて次年度第3号発行の準備をする。	令和8年3月 発行予定	
戸田海笛 《喜怒哀楽の図》 ブロンズレリーフの 点検・清掃	令和3年度に専門家により通常の点検・清掃作業手順の指導を受けたことに基づき、野外彫刻の維持管理を行う。サポーターまたは実習生等とともにおこなう予定。	秋頃	
開館記念日イベント	米子市展会期中の当日に実施する。	6/17 (月)	
井上幸夫・英子 コレクション点検等	アジア博物館に寄託されているアール・ヌーヴォー期のガラス工芸作品について定期点検を実施。	随 時	